

2022年5月16日

株式会社あさひ

当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社は、取締役会の実効性を高め、企業価値を持続的に向上させることを目的として、2021年度の実効性を対象として、取締役会の実効性に関する評価を実施し、その結果がまとまりましたので、以下のとおりその概要をお知らせいたします。

一、取締役会評価実施概要

1. 対象者 2022年2月20日時点で現任の取締役全員
2. 実施方法 対象者に対するアンケート調査（回答は匿名）
3. 質問内容 以下の6つの大項目に関する事項
 - (1) 取締役会の構成
 - (2) 取締役会の運営状況
 - (3) 取締役会の議題
 - (4) 取締役会を支える体制
 - (5) デジタルトランスフォーメーションの推進
 - (6) 前年の評価結果に対する取り組み
4. 評価方法 アンケートの集計結果を踏まえ、取締役会において、分析・評価を実施

二、評価結果の概要

実効性評価の結果、取締役会の構成、運営状況、議題、体制の各面において、当社の取締役会は概ね適切に機能しており、取締役会の実効性が前回評価時より向上していることを確認いたしました。総じて、専門的な知見による実質的な議論、適切なテーマの選択と意思決定等、当社の持続的な成長と企業価値の向上に必要な実効性を有しているものと評価されます。

2021年度におきましては、機関設計を「監査役会設置会社」から「監査等委員会設置会社」に移行し、重要な業務執行の決定の一部を取締役に権限移譲することにより、経営の迅速化を図ってまいりました。

また、取締役会では新市場区分における「プライム市場」を選択し、さらなる企業価値の向上を目指すため、コーポレート・ガバナンスのより一層の強化、中長期の企業戦略等に関することを中心に議論を進めてまいりました。

課題としましては、経営陣の後継者育成を具体的に進めていくこと、多様な人材を今後も確保・登用していくこと、情報通信技術のさらなる活用やサステナビリティに関する取り組みを推進していくこと等が確認されましたので、引き続き課題解決に向けて議論を深めてまいります。

当社は、これまでの評価結果を参考にし、当社が置かれた経営環境を踏まえた最適なコーポレート・ガバナンス体制を構築すべく、今後も継続的に検討を進めてまいります。

以上